

医学用語あれこれ 15



浜口 恵子

今まで、一応系統立てて一通り見てきましたので、今回からはテーマを決めずに少し気ままに、思いつくままに紹介していきたいと思えます。

- malac/ia : 組織の軟化、軟化症
- scler/osis : 硬結、硬化症
- ptosis : 臓器の下垂、下垂症
- spasm : 痙攣、硬直、痙縮

上記4つのことばは、ここでは接尾辞として紹介しますが、それぞれ malac/ia 軟化症、scler/osis 硬化症、ptosis 下垂症、spasm 痙攣というように独立した1つの単語としても使われます。

-malac/ia は柔らかい、柔軟な、軟化を意味する連結形 malac/o に名詞語尾の -ia をつけたものです。

onych/o は爪を指す連結形ですが、onych/o/malac/ia で爪軟化(症)、爪甲軟化(症)となります。irid/o は虹彩を意味する連結形ですが、irid/o/malac/ia で虹彩軟化(症)ということばができます。encephal/o/malac/ia は脳組織の軟化、脳軟化(症)です。同様に crani/o/malac/ia は頭蓋骨軟化(症)、oste/o/malac/ia は骨軟化(症)となります。nephro/malac/ia は腎軟化症、arteri/o/malac/ia は動脈軟化(症)です。

scler/o は硬いこと、硬結を表す連結形ですが、これに状態を表す接尾辞 -osis をつけて -scler/osis とすると硬化(症)という意味になります。

今までに出てきた連結形と組み合わせたことばを見てみますと、angi/o/scler/osis 血管硬化(症)、arteri/o/scler/osis 動脈硬化

(症)、phleb/o/scler/osis 静脈硬化(症)、myo/scler/osis 筋硬化(症)、また nephro/scler/osis 腎硬化(症)などがあります。

-ptosis は落下を表すギリシア語 ptosis からきたことばで、接尾辞として用いられます。具体的に使用されている例を挙げてみましょう。gastr/o/ptosis は胃の下垂症、胃下垂症、gastr/o/enter/o/ptosis は胃小腸下垂症、enter/o/ptosis は小腸下垂症です。また、col/o/ptosis 結腸下垂症、splen/o/ptosis 脾下垂症、hyster/o/ptosis 子宮下垂症、blephar/o/ptosis 眼瞼下垂、nephro/o/ptosis 腎下垂症などの用語があります。

-spasm はきつく引っ張ること、痙攣を意味するギリシア語 spasmos からきたことばで、連結形は spasm/o です。

vas/o は血管、脈管を表す連結形ですが、vas/o/spasm にすると血管痙攣、血管攣縮という意味になります。angi/o/spasm も同様に血管痙攣を指します。arteri/o/spasm は動脈痙攣、neur/o/spasm は神経の痙攣、神経性(筋)痙攣、gastr/o/spasm は胃痙攣、blephar/o/spasm は眼瞼痙攣です。dactyl/o/spasm は指痙攣、urethr/o/spasm は尿道痙攣、laryng/o/spasm は喉頭痙攣、声門痙攣、bronch/o/spasm は気管支痙攣となります。

回を重ねると、今までに出てきたことばが多くなって、新しく覚えるものが少なくなり、ずいぶん楽になったと思えます。今回見た接尾辞もよく使いますので、覚えておかれると便利でしょう。それと、新しく出てきた単語は、そのつど医学英語辞典などで確認していただければ、頭の片隅に残る確率が高くなること請け合いです。では、また次回に。

はまぐち けいこ : 高槻赤十字病院図書室